

トマト黄化葉巻病の発生実態を調査

一昨年、タバココナジラミ類が媒介するウイルス(TYLCV)によって引き起こされる「トマト黄化葉巻病」が府内で発生したため、病虫害防除所と当研究所で府内のタバココナジラミ類の発生種及び分布調査、並びにトマト黄化葉巻病の発生実態調査を行っています。

9月下旬から10月中旬にかけて行った調査の結果、10月上中旬に2施設でトマト黄化葉巻病の発生を確認しました。

その後、10月26日に2施設の発病株調査を行ったところ、それぞれ8.0%、18.9%の発病株率でした。引き続き同施設の発生状況を調査する予定です。



トマト黄化葉巻病の発病株調査
(矢印部分にトマト黄化葉巻病発病株があります。)